



いもと 議会だより

Vol. 45
2026年9月



上浦海岸の夕日



K-BAYサーフィングクラブを中心とした清掃活動参加メンバー

【発行】 和歌山県串本町議会 〒649-3592 和歌山県東牟婁郡串本町サノコ台690番地5

【編集】 議会広報広聴特別委員会 串本町役場 TEL.0735-67-7261

3月議会定例会報告	P2～P3
6月議会定例会報告	P4
常任委員会の報告	P5～P6
一般質問	P7～P17
研修会・その他	P18
インタビュー記事	P19～P20



第1回定例会 (3月)

第1回定例会 (3/4~3/19)	
報 告	3件
人 事	3件
条 例	12件
補正予算 (令和7・8年度)	9件
当初予算 (令和8年度)	15件
請 願	1件
陳 情	1件
発 議	1件
そ の 他	4件

※追加議案を含む

令和8年度の予算を議決

一般会計予算額 117億7,715万3千円

主 な 歳 入

■ 地方交付税	48億円
■ 町税	14億8,627万円
■ 国・県支出金	14億7,881万円
■ 寄附金	7億500万円
■ 地方消費税交付金	3億4,000万円
■ その他財産収入など	29億6,707万円



主 な 一 般 会 計 の 歳 出

■ 教育費	統合小学校建設事業	10億545万円
■ 民生費	障害者自立支援事業	6億7,152万円
■ 衛生費	病院事業会計繰出経費	5億5,593万円
■ 衛生費	衛生施設事務組合経費	4億994万円
■ 衛生費	ごみ収集処理経費	1億6,792万円
■ 総務費	ふるさとのまちづくり応援基金積立金	3億4,533万円

主 な 特 別 会 計 の 予 算

■ 串本町後期高齢者医療特別会計	6億7,778万円
■ 串本町国民健康保険事業特別会計	20億1,653万円
■ 串本町介護保険事業特別会計	27億6,436万円

※ 町債については、新古座消防署庁舎建設事業や、指令共同事業など消防業務の大型事業の完了により8億3,680万円の減となっている。

採決が行われた議案

件名	採決の結果	議 員 名										
		橋爪	水口	角	島野	吉村	北地	太田	仲江	沼谷	立野	鈴木
串本町国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
串本町学校施設等使用条例の一部改正について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
串本町社会体育施設条例の一部改正について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
串本町文化センター条例の一部改正について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
令和８年度串本町病院事業会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
令和８年度串本町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
令和８年度串本町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
令和８年度串本町串本財産区特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
物価上昇に見合う年金引き上げを求める請願（文教厚生常任委員長報告）	不採択	○	○	欠席	○	○	○	○	×	○	×	○

※議長は採決には加わりません。

串本町教育委員会教育長の任命



濱崎 和司

略歴:昭和39年生まれ。東京学芸大学小学校教員教育課程を卒業。平成4年4月より11年間、串本中学校で勤務をされ、平成15年4月から串本町教育委員会の指導主事を7年間務められました。その後、平成22年4月に串本中学校教頭、平成27年4月から串本西中学校、串本中学校で9年間校長を務め、令和7年3月末退職後も、串本中学校で非常勤講師及び支援員を務められました。

自治功労者表彰

令和8年2月6日に行われました第77回全国町村議会議長会の定期総会において、水口議員が町村議会議員として27年以上在職したとして、自治功労者表彰を受賞されました。今後とも一層のご活躍をご期待いたします。



水口 崇

6月議会是一般会計補正予算 5,084万8千円を可決

第2回定例会
(6月)

歳入歳出予算総額 118億2,800万1千円

主 な 歳 入

■ 国庫支出金	道路メンテナンス事業補助金 長寿命化修繕事業 …………… ▲4,284万円
■ 県支出金	林道改良事業費補助金 …………… 1,171万円
■ 繰入金	財政調整基金繰入金 …………… 1,593万円
■ 町債	過疎対策事業債 長寿命化修繕事業 …………… 3,790万円

第2回定例会 (6/10～25)

報 告	7件
条 例	1件
補正予算	8件
人 事	8件
請 願	1件
そ の 他	4件

※追加議案を含む

主 な 歳 出

■ 総務費	ふるさと産品創出支援事業補助金 …………… 4,120万円
■ 総務費	地域の賑わいづくり整備支援事業 …………… 586万円
■ 農林水産業費	林道橋点検診断業務委託料 …………… 710万円
■ 農林水産業費	林道橋補修工事 …………… 2,251万円
■ 消防費	救急救助用備品 …………… 293万円
■ 教育費	閉校記念事業補助金 …………… 200万円
■ 教育費	B&G海洋センター自動ドア更新工事 …………… 124万円
■ 教育費	野球場ブルペンテント張替工事 …………… 158万円

地域の賑わいづくり整備支援事業

昨年度より、串本古座高校の生徒と一緒に進めてきた、高校生と考えるJR串本駅つれもてまいまいプロジェクトで、串本駅コンコースの環境整備として、Wi-Fi整備、ロケットなどをプリントしたロールカーテン、紀州材を使用したテーブル、ベンチなどを設置し、賑わいを創出することでJRの利用促進を図る事業。



総務産業建設常任委員会

総務産業建設常任委員会にて審議した主なものを報告します。

■串本町ふるさと産品創出支援事業について

魅力的なふるさと産品の創出を図ろうとする事業者に対して、ふるさと納税制度を利用した資金調達を実施して補助金を交付するというもの。

■下水道事業経営戦略の改定について

令和3年3月に下水道事業（特定環境保全公共下水道）の中長期的な経営の基本方針となる「串本町下水道事業経営戦略」を期間10年で策定しているが、3年から5年で見直す必要があり、今回、人口減少や施設の老朽化、近年の物価高騰といった経営課題を反映し、将来にわたって安定的なサービスを供給していくための中長期的な経営の方向性を示すべく、改定を行ったもの。

■内閣府・国土交通省・気象庁による新たな防災気象情報の運用について

令和8年5月29日に、気象庁発表の各種警報が変更され、各種警報・注意報の情報面に警戒レベルが付記されることとなった。

総務省消防庁が担当するJ-ALERT自動放送では、レベルが放送されないため、町内放送にて警戒レベルを補足するようにしており、状況によってはJ-ALERT、レベルを伝える町内放送、避難を伝える町内放送と3回続けて放送するような場合があるので、文の集約を検討中とのこと。

また、消防庁でJ-ALERTにレベルを付けて放送されるように改良された場合は、逐次対応していく考えが示された。



■請願について

令和8年5月21日に、アクセス道路・古座川新橋建設に反対する会から、古座川新橋（仮称）建設計画反対決議を求める請願が出され、6月10日の本会議で総務産業建設常任委員会に付託された。6月11日に紹介議員の角議員から、請願の趣旨説明を受け、審議の結果、不採択とすることとした。

文教厚生常任委員会

2月4日から6日にかけて、長野県の茅野市・駒ケ根市・泰阜村を視察に訪れました。

茅野市では18ある全ての学校で自校方式の給食を実施しています。地場産の食材に関しては、学校単位で生産組合があり供給を受けているとの事でした。茅野市では学校のみならず、すべての市民が

- ◆地域の食文化を大切に守り伝える。
- ◆望ましい食生活で健康長寿を目指す。
- ◆食でコミュニケーションアップを図る。

をスローガンに食育を進めているというのもすばらしい取り組みです。

駒ケ根市では、住民が主体となっていく介護予防・生活支援の取り組み「支え合いの地域づくり」が行われています。最初に取り組んだのが「住民主体の通いの場」づくりで、それぞれの区に複数の通いの場が様々な形態で設置され、16の行政区のなかに168か所の通いの場が設けられています。私たちの町でも失われがちな地域の支え合いを、制度として市全体で再構築したことはとても参考になりました。

泰阜村には社協以外に介護事業所がないため、社協への期待が大きく、村民の全世帯が会員になっています。社協は幅広く事業を展開し、「幸せな老後と死を迎えられる村」の実現を目指し活動しています。介護保険のサービス料金は利用者が1割負担となっていますが、泰阜村はそのうち6割を村が負担し、つまり利用者の負担は4%で済むようになっています。また支給限度額を超えた部分は全額村が肩代わり負担をしており、そのことで少ない年金収入でも十分な介護サービスを利用できる体制を構築しています。



令和8年4月16日に日本一小さな美術館の視察を行いました。

委員会室での会議終了後、無量寺にでかけ応挙芦雪館を訪問しました。近年芦雪の代表作龍虎図を国宝指定するよう求める機運が高まっています。今回収蔵庫の改修を機に保存の現状を知るために委員会での視察を行いました。



一 般 質 問

第1回定例会(3月)及び第2回定例会(6月)に行った一般質問の内容をお届けします。

一般質問では、町が行う取り組み内容や問題点に関し、幅広く質問することができます。

傍聴人数

3月議会 **30**人

6月議会 **78**人

記事の内容は、質問議員の責任において、議員自身が作成したものです。



ページ	見 出 し	質問議員
8	自然災害が起きた時の橋の対応について	橋 爪 和 雄
9	串本はついに人口減率県内1位。町は瓦解!!	水 口 崇
10	少子化に伴う小中学校の統合問題について	角 将 範
11	ARを導入して観光で町を活性化させる。やるか、やらんかです。	吉村 聡一郎
12	労働安全衛生法に基づく町職員の職場環境について	北 地 稔
13	ロケット打ち上げは、受益者負担の軽減を	太 田 徹
14	物価上昇の町民への影響は	仲 江 孝 丸
15	串本カイロスロケット体操普及について	沼 谷 美 次
16	就学世代のAI利用を“推奨しない”本町の声明を	立 野 仁 徳
17	防災・減災対策の充実・財源の確保について	鈴 木 幸 夫

各議員のページにある二次元コード(QRコード)を読み取ることで、その時の一般質問の動画映像を御視聴いただけます。
ぜひ、ご覧ください。



自然災害が起きた時の橋の対応について

建設課長 和歌山県が事業化を進めている。
県と協議しながら進めていきたい。



橋爪和雄



6月議会

●6月議会

台風6号・フィリピン地震の対応と今後の対策について・観光について。

質問 台風6号、3日の朝6時に串本から津荷、特に古田、月野瀬、高瀬まで被害状況確認をしました。被害状況について。

答弁（産業課長） 林道では、のり面の小崩土や落石、倒木の被害が発生しましたが崩土の除去や路面整備、倒木撤去などを行い、通行の支障が出ないように対応しました。漁港では流木等の漂着がありました。漁業者や回収業者と連携して撤去

しました。

答弁（建設課長） 田並川の氾濫による護岸の崩落、天神線の道路が通行止めとなりましたが復旧を終えています。

答弁（水道課長） 田並川の氾濫によって河川護岸が崩落したことに伴い配水管が破断し、断水しましたが午前中に仮復旧しました。古座川の月野瀬取水井では、取水ポンプが2台故障して水をつくる能力が低下したため、節水の協力をお願いしました。現在は故障前に近い状況まで復旧しています。

質問 町の顔である橋杭の立岩。観光地のごみの処分。月野瀬周辺の氾濫を見て。今後大きな水害、自然災害が起きた時の橋の対策について。特に今回の台風時の河内橋の水位が危険な状況に対しての今後の対策について。

答弁（産業課長） 橋杭の立岩は、観光地の顔でありますので、今来ている

台風の状況を見ながら対応したい。

答弁（建設課長） 橋については災害等を防ぐことについて、今は県が協議している聞いています。新橋は事業化になっていきますので、県と協議しながら進めていきたいと考えています。

質問 古座川町まじづくり基本構想の中には古座川インターチェンジへのアクセス道路として要望し予算が出ています。新たに河川整備推進強化を国と県へ古座川町が要望しました。古い橋等や今後の災害のことを考えた（新たな橋）対策について。

答弁（建設課長） 古座橋、河内橋等がかなり老朽化している。古座川の新橋が大規模災害等においても2次緊急輸送道路ということ有効かとは考えますが、県も河川氾濫等の影響のないように慎重にしていきたいという考えですので、連携を

とって進めていきたい。

質問 4市町村観光団体観光創発連携協定、東牟婁郡新宮市の中で、串本町だけが不参加になっている理由について。

答弁（産業課長） 5月27日に、那智勝浦町、新宮市、太地町、北山村の観光協会等による観光協会連携協定が締結されました。この協定は「創発」をテーマに、それぞれの地域が持つ観光資源や魅力を生かしながら、広域で連携して観光価値の向上を図ることを目的としたものです。本協会への南紀串本観光協会の参加について確認したところ、同協会への参加要請がなかったとのことでした。

質問 観光協会の今後の事業の強化は、大きな課題であります。今後、町からの協力の強化の必要性について。

答弁（産業課長） 観光団体と連携しながら、取り組んでいきたい。

串本はついに人口減率県内1位。 町は瓦解!!

企画課長 できるだけ住民満足度を高める



水口 崇



3月議会



6月議会

●3月・6月議会抜粋

県内一位の串本町の人口減率と政策（子育て支援の充実は自治体の人口増に直結）

質問 行政は、住民から預かったお金を有効に使うべきである。

財政破綻した夕張市は、最高の住民負担、最低の住民サービスで、1万3千人が20年後に半分以下の6千人に激減。串本町も25年後には半分になる。住民サービスを犠牲にしている政策は離村を誘発する。（子育て支援も後

手・小学校建設も計画変更で大きな財政負担・Sora-Miru（ソラミル）は年間3千万の経営負担・少子化の中で3つの公園作り他）無駄なものにはお金を掛けない。



クラウドファンディング型ふるさと納税

質問 今後ロケット打ち上げに、串本町の負担が毎回900万円必要となる。大変困る。返礼品無しクラウドファンディング型ふるさと納税で資金調達をすべきである。

手・小学校建設も計画変更で大きな財政負担・Sora-Miru（ソラミル）は年間3千万の経営負担・少子化の中で3つの公園作り他）無駄なものにはお金を掛けない。

答弁（企画課長） それは行政の仕事としてネットでの炎上が予想される。慎重に考える。

ロケット産業

早期の商業ベース化と過当競争からの生き残りの為の串本町の役割

質問 串本は、ロケット打ち上げ祭りと言われている。

世界中でロケット産業が生き残りをかけ、熾烈な過当競争をしている。既に国内外で撤退した会社も出ている。

専門家にスペースワンの生き残りを質問したが日本で必ず生き残るのはJAXAと言われた。

商業ベースの年間30基の打ち上げで、自然・海路・空路他串本発射場にはリスクが多い。白浜空

港の増便計画や夜間の打ち上げも視野に入れるべきである。企業誘致合戦に、人脈と営業能力も必要。カイロスと串本町は、一蓮托生である。

答弁（企画課長） 増便はロケット打ち上げ候補時間帯を避けての計画に要望。町長を中心に人脈を駆使して企業誘致に邁進していく。

電子投票導入

質問 串本町は最先端の町を目指すと言うのなら、電子投票を導入すべきである。串本は、選挙事務において、ミスが多い。開票も遅い。手書きの為に異議申し立てもある。他町では不正投票もあった。

答弁（総務課長） ハードルが下がってきてからの導入を考える。

少子化に伴う小中学校の統合問題について

教育長 スピーディーにやるところはやる



角 将範



6月議会

●6月議会

串本細田の踏切について

質問 昨年12月に細田の踏切の改修についてお尋ねしました。建設課のその後の対応と経過について尋ねます。

答弁（建設課長） 令和5年当時から、矢ノ熊地区から改修の要望を受けて、JRとも協議をしてきましたが、一千万から二千万、場合によっては一億円の工事費がかかるとの返事があり、とりあえず応急処置をさせていただきました。その後も又、

JRとも踏切に関して協議を行っています。

質問 町民の命を守る為に、お金は町が負担するのですから、町長にちゃんとお願いして、解決してもらいたく、今回も改めて一般質問をしました。町長その辺の事についてどうでしょうか。

答弁（町長） 踏切を広げるに当たっては、何十年という課題の中で、今まで解決できていない状況であります。今、角議員から本当に危険であるという指摘を受けましたので、改めてJRに伝えて話をしたいこうと思います。

串本小中学校の統合問題について

質問 2015年に文科省が全国の自治体に統合の指針を出しましたが、統合が進まないという事で、この6月に再度、法律

を変えて統合を進める様に各自治体に通告がありました。串本町も統合問題が長い間放置されて来た経過がありますが、今後の施策をお尋ねします。

答弁（教育長） 統合問題は、保護者の方、地域の人の理解がいる事から、今年言うて、来年という事にはなりません。色々な事を鑑みてスピーディーにやるところはやる。町にとっても子供は宝です。その辺の事も考えながらやっていきたいと思っています。

串本町の雇用対策について

質問 我町の若者の流出を止める為には町内の雇用対策が重要であると思いが、町長は今後経済対策（雇用対策について）考えている事があれば教えてください。

答弁（町長） 今議員に質問させていただいている中で、若者が流出しない、若者に産業を生ませられる様な、いい案がないのかと正直これがいいですと言うのは、なかなか言いにくいのが現状です。

古田から高池地区にかかる新橋について

質問 住民の新橋建設反対の署名運動について、この新橋は将来の水害のリスクを高める事が予想される中、新橋建設反対の立場で、緊急時の物資、他、今ある橋の改修で十分であると思うが。

答弁（町長） 今回のこの橋の構想が現実のものになって完成するのは多分数年後だと思います。災害が起こったときに、90年近く経った橋が、水害や津波に対応出来るのか疑問です。

ARを導入して観光で町を活性化させる。 やるか、やらんかです。

町 長 200万人突破したことを喜んでおる場合ではない。



吉村聡一郎



3月議会



6月議会

●3月議会 地域協議会について

質問 高校と地域協議会と町が一致団結して進んでいる中で、更に協力できることはありますか。

答弁（教育次長） くろしお塾の評価は地域においても年々高まってきています。国公立大学の合格者もこの規模の高校としては高水準を保っています。高校と連携して大学受験対策だけでなく、授業の補修の個別指導など、ほぼ365日開講して大変努力していただいているところですよ。引き続き現状のレベルを落とすこと

なく、保持する取り組みを続けていきたい。

町の救急医療について

質問 県立医大が救急医療分野で新宮市立医療センターと遠隔ICUの運用を開始しました。このことでくしもと町立病院のメリットは。

答弁（病院事業管理者） 当院としては直接のメリットはないのですが、このシステムを組むことで新宮市立医療センターで重症の受入れがしやすくなります。要するにハードルが下がるという事で、交通外傷、脳、心疾患含め重症の方を受け入れやすくなると思います。その意味で、串本の住民が重症状態になったとしても受入れていただける可能性、確率が上がるのではないかと考えております。
※その他

- ・公務員の職場環境について
- ・ロケット発射に際して

●6月議会

AR導入の実現に向けて

質問 AR（拡張現実）のメリットですが

①様々なサイズでの再現が可能。②デジタルデータの為、容易に入替が可能で建築基準の制約を受けない。③VRとARの違い。VRはゴーグル、ヘッドセットがあり身体や精神に負担をかける部分が多あるが、ARはタブレット、スマホで見るので負担はない。④QRを取り込むことでデータ集積ができる。⑤観光客の動向、滞在時間、利用状況などを集積して、観光施策やPR活動に繋げることが可能。⑥工事や機械を設置する必要が

ない。

以上6つあります。なぜ私が勧めるのか？串本ですぐ出来ると思うから勧めるんです。だから出来るか出来ないかの話ではなく、やるかやらないかの話なんです。

答弁（企画課長） 今年のGWにヒト・コミュニケーションズさんに、橋杭の道の駅でカイロスのARを使ってSoraimiruへの誘客策をしていただきました。今年の夏に、県立美術館で開催の芦雪展でカイロスのARを使って串本町ロケットをPRすることを計画中で、技術的には可能と聞いております。

質問 観光で町を活性化させませんか。

答弁（町長） 議員が言われている方向性は、我々と全く一緒であります。200万人を突破した、それだけで喜んでいる場合ではないです。

労働安全衛生法に基づく 町職員の職場環境について

総務課長 衛生管理者を選任し安全衛生を進める



北地 稔



3月議会

●3月議会

質問

学校給食法に基づいて給食センター内の調理・配食状況を見学し、子供たちと同じ給食を食した感想として、育ち盛りの子供たちなので満足いくように食べていたいただきたいと思う、給食の量が足りていない子供がいるのではないか。

答弁（教育次長）

量についてはアンケート調査を実施している、小学校では9.7パーセント、中学生では5.3パーセント、やはり少ないと感じている子供がいる。

質問

給食の食材に、地産地消を積極的に取り入れ、地域食文化の継承も進めていただきたいと思う。

答弁（教育次長）

知っている人が作った食材を使うことで、食べ物を大切に感謝の心が育ち、地元でとれる旬の食材で季節を知ることができ、そして地元農家の方にとっても安定した出荷先となり地域経済が回るといわれているので、地元の食材をできるだけ使っていただきたいとお願いをしている。また地域食文化の継承についても、地域を知るきっかけに給食センターで取り組みを行っている。



質問

町民の健康寿命や、生活習慣病を減らすために、どのような取り組みをしているか。

答弁（福祉課長）

健康管理・運動・食育の推進を三つの柱に、いきいきくしもとプラン21を策定し、町民一人一人が主体的に健康づくりに取り組んでいけるよう実施している。

質問

当地方は地域的に塩分摂取が多く、高血圧症が多いと言われているが、どのような対策をしているか。

答弁（福祉課長）

すべて



質問

労働安全衛生法に基づく町職員の職場環境対策及び衛生管理者について。

答弁（総務課長）

現状として衛生管理者については今申請をしているところであり、資格取得できれば議員提案の安全衛生管理委員会を作り職員の安全衛生を進めていきたいと考えている。

答弁（住民課長）

労働安全規則が改正され熱中症対策評価ができて体制整備等が事業所に義務付けられたので、より一層職場環境の改善に努めている。

ロケット打ち上げは、 受益者負担の軽減を

企画課長 より良い効果を生む取り組みを行う



太田 徹



3月議会



6月議会

●3月議会

質問 防災業務は、防災

に対する研究の高度化により、膨大化、かつ、複雑化している。このことに対応する防災業務体制が必要であり、膨大な業務量における平準化も必要と考える。4月採用予定の防災コーディネーターの配置と業務について尋ねる。

答弁（総務課長）危機管理

監として配置します。恒常業務は、防災計画など、災害対策業務全般を担当し、災害時は、緊急災害対策本部において、

町長のサポートなど、関係機関との連携、情報収集を担当します。

※その他

- ・中学校部活動の地域クラブ移行（大会遠征費対策など）

- ・水道の水質基準改定（PFAS関連）

- ・観光資源の保護と活用（老朽化対策等）

- ・空き家バンクの活用実績と今後の展望

- ・漁港の安全と施設管理（阿野木漁港と檜野漁港の早急な整備）

●6月議会

●6月議会

質問 国の宇宙戦略基金

の増額及び宇宙活動法の改正により、ロケットの打ち上げ頻度が上がる可能性がある。見学場の運営及び安全の確保は、予算措置及び労力負担、収

益を含め、より良い効果を生み、予算などの軽減等につなげることが必要である。そのための施策は。

答弁（企画課長）見学の運営及びツアー造成（見学チケット販売等）は、

業務委託を行い、経済的效果を含めた計画を実施します。安全管理等については、関係機関との慎重な調整により、協議を進めます。

質問 旧大島中学校のグランド下のトンネルは、

老朽化による構造的強度の確認が必要と考える。耐震診断等を含め、インフラ長寿命化計画における現在の管理状況は。

答弁（建設課長）グラ

ンド下のトンネルは、和歌山県県土整備部の基準により、溝橋として分類し、今後は、データベース化

を行い、道路メンテナンス事業における道路橋梁点検を実施します。

※その他

- ・Sorai Miruの看板（視認が容易な位置へ）

- ・防災（南海トラフ地震の想定見直しにおける対応、事前復興計画、ペット避難、車中泊避難）

- ・統合小学校建設（建築資材高騰及び入荷遅延対策、設計意図伝達業務の活用と実績、教室等の反響音対策）

- ・デジタル教育におけるAIの活用について

- ・読書の習慣と道徳教育

- ・児童生徒の安全確保（防犯カメラの活用状況と増設）

- ・建設工事の熱中症対策（入札優遇制度等）

物価上昇の町民への影響は

産業課長 エネルギー価格や物流コスト・石油由来製品の価格に影響が生じている。



仲江 孝丸



3月議会



6月議会

●3月議会

質問 今年はジオパーク再認定の年。前回の世界ジオ国内推薦が見送られた原因は。

答弁（産業課長） 指摘事項が7点あった。

質問 議事録を見ると捕鯨問題が一つのネックになっている。串本町が何をなすべきか。

答弁（教育次長） 捕鯨の歴史展を開催したい。

質問 6年度の観光統計で宿泊客数では1位白浜町2位串本町3位那智勝浦町となっている。勝浦

より串本の方が多いのは何故か。

答弁（産業課長） 串本町に観光に来る人が泊っている。

質問 ホテルに関して勝浦の収容力は266人。串本のホテルの収容力は1675人。この差が宿泊客数の差に繋がっている。より観光客を集める計画策定が必要。

答弁（産業課長） 観光協会・事業者含めて協議していきたい。

●6月議会

質問 物価上昇が町民の暮らしにどのような影響を与えているか？

答弁（産業課長） 中東情勢に関連してエネルギー価格や物流コスト・石油由来製品の価格に影響が

生じている。農業では燃料や化学肥料価格・ビニール資材の高騰で経営全般への影響がみられる。商工業者も燃料費、物流費・仕入れ価格・包装資材費などが上昇している。飲食業・小売業・水産加工業等では価格転嫁が難しい場合収益が悪化する恐れがある。

質問 繰り返されてきた連動型地震と、南海トラフ巨大地震がごちゃまぜにされて、南海トラフ巨大地震がすぐそこに迫っているという間違った情報が錯綜している。

答弁（危機管理監） 誤解されて混同されているのが実情。事前復興計画の策定段階で各地区でワークショップを開いて正しい認識を持ってもらう。

平和教育

質問 いま日本は武器を諸外国に売りさばき、世界中の紛争に加担する国になった。戦争の恐ろしさ・愚かさをきちんと学ぶ平和教育がこれまで以上に重要性を増している。

答弁（教育次長） 平和教育は串本町教育委員会としても重要視している。福竜丸建造の地として核兵器廃絶と平和を願い、平和祈念事業を継続して実施している。



平和教育 戦跡ツアー

串本カイロスロケット体操普及について

企画課長 こども園、小中学校の校長会で説明する



沼谷美次



3月議会



6月議会

● 3月議会

児童生徒の不登校問題やインターネットによるいじめはないのか又その対応について

質問 出席扱いとなる教育支援ルーム「とらいあんぐる」やオンライン学習について

質問 出席扱いとなる教育支援ルーム「とらいあんぐる」やオンライン学習について

質問 出席扱いとなる教育支援ルーム「とらいあんぐる」やオンライン学習について

質問 出席扱いとなる教育支援ルーム「とらいあんぐる」やオンライン学習について

質問 インターネットによるいじめはないのか。又その対応について

質問 インターネットによるいじめはないのか。又その対応について

質問 インターネットによるいじめはないのか。又その対応について

質問 インターネットによるいじめはないのか。又その対応について

社会問題化しているため各校において専門家を配置し指導している。

質問 いじめに対する教職員の共有について

質問 いじめに対する教職員の共有について

答弁（教育次長） いじめ事業を把握した場合、管理職に報告し、いじめ対策委員会を開き、又学期ごとにいじめアンケートを実施し全職員で共有している。

● 6月議会

16歳以上の自転車運転違反者に青切符の導入について

質問 2026年4月1日から自転車交通違反した16歳以上の運転者に青切符が始まり、16歳以上であつても危険行為とみなされた場合、青切符の対象とみなされ、反則金は保護者となる。そんな事無いように、家庭でもそうですが学校の方で

も、自転車に安心、安全に乗るための学習を是非してもらいたい。ちなみに青切符対象違反行為は113件ある。

質問 113件ある。

質問 113件ある。

答弁（教育次長） この交通反則通告制度青切符については、今年度の交通安全教室において、児童・生徒に周知される予定となっている。又法規の部分では、低学年にはなかなか入りにくい部分がある。高学年と中学校では、警察の方から来ていただき、スライドやパワーポイントを使ったり、視覚に訴えるようなことも入れながらやってくれる。

串本カイロスロケット体操について

質問 4月4日に串本町文化センターにおいて完

成披露イベントがあり、園児の皆さんや各団体の関係者の方等多数の方が来場され、大変な盛り上

がりで、この盛り上がりがいっまでも続くように串本カイロスロケット体操普及に各種団体に協力要請は難しいか。

質問 要請は難しいか。

質問 要請は難しいか。

答弁（企画課長） 町内の小中学校にカイロス体操普及にご尽力いただくよう校長会に依頼させてもらっている。

質問 カイロスロケット体操の指導者育成とロケット体操が広く町民に行き渡り、今年の町民大運動会で再度披露されるよう目指してやってもらいたい。

質問 カイロスロケット体操の指導者育成とロケット体操が広く町民に行き渡り、今年の町民大運動会で再度披露されるよう目指してやってもらいたい。

答弁（企画課長） 体育協会の皆さんにお願いしたい。



就学世代のAI利用を “推奨しない”本町の声明を

町 長 意見に、賛同したいと思う



立野 仁徳



3月議会



6月議会

●3月議会

質問 町内各区の運営について、12月議会での質問に対する進展を伺う。

答弁（総務課長） 防犯灯の電気代補助を前年度比90万円増額、電気代補助率増を考えている。

質問 農業政策について、前回12月までの質問に対する進捗を伺う。

答弁（産業課長） ①遊休農地活用は、草刈り管理をしてあっても“耕起”をもって補助対象となるよう要綱を令和8年4月1日施行で改正。②獣害柵補助は、古座川町と協議

の上、両町の住所要件を外すことで両町間の地域連携とするよう取り組む。③受入協議会は、JA、行政、商工会、農業者で構成される農業振興会を母体とし、新規就農者の受入や先進地への視察、研修会実施や意見交換、農業に関する補助制度の紹介などを行いたいと考えている。

質問 有事を想定した本町の自立能力について、米騒動の例から政府の支援が届くまでには1ヵ月ほど掛かることを想定し、備蓄の考え方を見直す必要があると思うが、所感を伺う。

答弁（町長） 現状では3日分、方向性としてこれを拡大してゆくことは将来に向け必要になるかと考える。

（その他）
・行政に対する住民満足

度について
・町民の危機管理について
・学校給食について
・これからの学校教育について

●6月議会

質問 バス停の設備について、思いやり椅子の設置検討を。

答弁（企画課長） 国交相の通達基準を満たせる場所について地域から設置要望があれば、個別具体的に検討したい。

質問 若年層のデジタルデバイス、AI等の利用について、健全な成長への深刻なリスクが顕在化してきている。諸外国では罰則すら設け若年層の利用を制限する中、国が声明を出さないなら本町の教育姿勢として声明を出すべきでは。

答弁（教育長） 全て禁止にはできないので、必要性の見極めについて指導して行きたい。

答弁（町長） 分別のついてない子供たちには諸刃の剣で、メリット・デメリットの正しい理解を教育委員会から親御さんへ説明することも大変重要。いま見直してゆく大きな時を迎えているのではないかと。議員の言われるところ、私も賛同したいと思う。

質問 町内各区の運営補助について、要件見直し検討の引き継ぎ、進捗について伺う。

答弁（総務課長） 防犯灯、電気代の補助増額の他、今後、ふるさと納税を財源とした自治会支援ができないか検討している。

（その他）
・防災対策について
・農業政策について

防災・減災対策の充実・ 財源の確保について

企画課長 ふるさと納税などの財源活用も含め、今後検討していく



鈴木 幸夫



6月議会

●6月議会

防災・減災対策について

質問 避難路・避難施設の維持管理の現状は。また、自主防災組織の高齢化が進む中、維持管理への支援や財源確保の考えは。

答弁（危機管理監・企画課長）町では避難路184か所を整備しており、国・県等を含めると290か所となる。日常の維持管理は自主防災組織等が担っているが、大規模な改修が必要な箇所は現在把握していない。ふるさと

と納税などの財源活用も含め、今後検討していく。
質問 旧和深中学校は高速道路工事終了後も避難施設として活用されるのか。

答弁（総務課長）工事終了後の施設の活用方法については、事業者との協議を踏まえ検討していく。

質問 土砂災害対策やライオン確保の現状は。

答弁（建設課長）土砂災害警戒区域は県が指定・管理しており、必要に応じて県と連携して対応する。

答弁（水道課長・総務課長）水道施設には非常用発電設備を整備、避難所には防災行政無線や可搬型無線機、蓄電池なども配備し、災害時の情報伝達体制の強化を進めている。

人口減少対策について

質問 若者定住と子育て

支援の取組は。

答弁（企画課長・産業課長・こども未来課長）空き家バンクや起業支援、漁業担い手支援などを実施しているほか、地域食堂など地域ぐるみで子育てを支える取組も進めている。

質問 人口減少による地域コミュニティや担い手不足への対応は。

答弁（総務課長）区の存続や区長の担い手不足など課題は深刻化している。地域の意見を聞きながら、行政として支援策を検討していく。

地域産業の振興について

質問 ロケット関連事業や地域産業振興への考えは。

答弁（企画課長）ロケット関連では雇用や宿泊・飲食など一定の経済効果

が生まれている。今後は関連企業の誘致や地域産業との連携を進め、地域経済の活性化につなげていきたい。

質問 地元業者、とりわけ建設業や設備業の個人で事業を営む小規模事業者は、物価高騰や資材不足に加え、仕事量の減少で厳しい経営状況にある。町が把握している現状と、今後の支援策について。

答弁（企画課長）県主催の「キースペースハブ」事業やワークショップを地元事業者へ周知し、新たなビジネス機会につなげたい。また、令和8年度物価高騰対策重点支援交付金も活用可能だが、交付額が小規模であるため、事業者支援には一定の制約があると考えている。

古座消防署 竣工式

令和8年1月30日（金）

新たな防災拠点となる古座消防署 新庁舎の竣工式が行われ、完成を祝いました。



（仮称）くしもと小学校起工式

令和8年2月2日（月）

建設予定地で起工式が執り行われ、工事の安全を祈願しました。令和9年4月開校予定です。



イメージ図



全員協議会

令和8年3月17日（火）

全議員による全員協議会が行われ、例規集閲覧用端末を全議員に貸与するにあたり、端末の取扱いに係る申し合わせ事項について協議しました。端末は6月議会から貸与されています。

全国議長、副議長研修会

令和8年5月25日（月）から5月27日（水）

東京都で開催され、副議長が出席。

地方創生の先行き-地域未来戦略とともに- 他、3項目について研修を受けてきました。各講師からは、制度の説明や取り組み事例の紹介など、人口減少社会において目指すべき方策が示された有意義な内容でした。

地域の安心を守るために

救助隊員の挑戦、全国大会を目指して

串本町消防本部の救助隊員たちは、災害現場で皆さまの命を救うため、日々厳しい訓練に励んでいます。彼らが目指しているのは「全国消防救助技術大会」への出場です。

今回は、隊員たちの「現場にかける想い」についてインタビューを行いました。



Q 消防救助技術大会とはどのような大会ですか？

A 救助隊員が日々の訓練で磨いた「プロの技術」を競う大会です。単なる速さだけでなく、災害現場で求められる「安全・迅速・確実」な救助手順が厳しく審査されます。

Q 大会に向けて、どのような訓練を行っていますか？

A 通常の勤務に加え、非番日や公休日も活用し、技術の練り上げに励んでいます。本番と同じ緊張感の中で、「現場でどんな状況でもミスなく迅速に動く」実践的な訓練を積み重ねています。

Q 大会当日の様子と結果について教えてください？

A 今回は初めての日曜日の開催ということもあり、例年以上に多くの観客が見守る中、和歌山県消防学校で実施されました。会場は独特の緊張感に包まれていましたが、これまでの厳しい訓練と仲間を信じ、チーム一丸となって全力で競技に臨みましたが、惜しくも僅差により全国大会への切符を逃す悔しい結果となりました。

Q 今後の意気込みを教えてください？

A 今回の挑戦で得た経験を今後の訓練や災害対応に活かし、来年こそ目標を達成できるよう技術の向上に努め、皆さまの安全・安心を守るため、「いざという時」に信頼される消防隊を目指して、職員一丸となって精進してまいります。

《各委員会のメンバー紹介》 ◎委員長 ○副委員長 ●所属委員 ☆議長は一部事務組合以外の全ての委員会に出席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
氏名	橋爪 和雄	水口 崇	角 将範	島野 靖	吉村 聡一郎	北地 稔	太田 徹	仲江 孝丸	沼谷 美次	芝山 定史	立野 仁徳	鈴木 幸夫
常任	総務産建	●			◎		○		●	●		●
	文教厚生	●		●	●	○		◎		☆	●	
	議会運営	◎			●	●	●	●	○	☆		
特別	広報広聴	●			○	◎	●	●	●	☆		
一務部事務組合	衛生組合	●		●	●				●			●
	後期広域							●				
	紀南環境					●		●				

K-BAYサーフィンクラブ

二度と同じ波は来ない、その一瞬、瞬間を捉えた時の爽快感と高揚感がおおきな魅力、そして海への感謝の思い

小学生から70歳前半の女性も含んだ、波乗りが好きな人が集まったクラブです。海と波と一体になれるサーフィン、その海に感謝して、サーフィンをしたあとは、浜に漂着したごみを拾い、そして、2ヶ月に一度は、クラブのメンバーが集合して、浜の掃除と周辺の草刈りを行っています。このことに共感した奈良、大阪などの波乗りと海が好きな方々が清掃活動に参加してくれています。



清掃活動



K-BAYメンバー（一部）



波と一体



インタビュー

Q サーフィンへの思い

A 海に入ることに、気持ちと心を整え、自身をリセットできる大切な存在です。

Q 上浦（海岸）への思い

A 自然が豊かで、海の表情を近くに感じ、静かで落ち着ける雰囲気があり、海を純粋に楽しめる環境と思います。この景色と環境を今後も残していきたいと考えています。

Q ビーチクリーンに対する考え

A 綺麗な海があるから、サーフィンが楽しめます。海への感謝と環境を守ることがサーファアの役割と考え、ビーチクリーンを通して多くの方々へ、そして、幼い時から、海を守る思いと自然環境を大事にする意識が広がることを願います。

編集

後記



委員会メンバーと編集担当者が交代して、初めての発刊となりました。前号までの良き点を受け継ぎ、よりよく改善すべく委員の闊達な意見交換により、編集しました。今後も、町民のために、議会の様子をわかりやすく理解していただけるよう編集して参ります。



委員長